

○地上波放送の中継局について

< 現状 >

- ・ **tvk**は、親局+中継局**30**局で神奈川県内をカバーしている。
- ・ 親局と **t v k** 単独中継局**1**局を除き、**NHK**、東京民放**5**社と共同利用している。
- ・ 共同利用している設備、共同利用社の関係は局所ごとに異なるが、局舎、鉄塔、アンテナ、電源設備、非常用発電機、蓄電池は全て共用。

○地上波放送の中継局について

< 課題など >

- ・ 神奈川では設備の共同利用が進んでいるが、更に効率化、費用削減を進めるのであれば、各社単独で設備している中継放送機の共用が実現できないか。
全局（NHK+広域民放+ t v k）が1台の放送機から電波発射出来れば、設備の省力化、経費削減に寄与すると考える。
- ・ ただし、各社の現状設備の更新時期と放送機統一化の時期を合わせるのが困難か。
- ・ t v k の中継局放送機は、**2024年度～28年度**にかけて、全ての局所で更新を行う計画としている。

○インターネットの配信について

NHKのインターネット配信については、基本的に民放連と同様の意見

<現状>

- ・ **TVer**ではレギュラーの2番組を配信中。その他単発番組などもスポットで配信。
- ・ **Youtube**は自社番組を配信する公式チャンネルと、ニュースチャンネルの2つを運営。
- ・ コンテンツ毎に、**amazonプライム**や**U-NEXT**など配信事業社に依頼。
- ・ 情報番組「猫のひたいほどワイド」では、ニコニコ動画のプラットフォームを利用し、サブスク有料配信。

○インターネットの配信について

< 課題など >

- ・収益の面からは、自社プラットフォームに視聴者を集められるのが理想。しかし、コンテンツの品ぞろえやユーザビリティが不足し、ローカル局は埋没してしまう。
- ・民放のプラットフォームは、TVerなどひとつに集約し競争力を高める必要があると考える。
- ・放送エリアを越えた発信に加え、将来的にはリコメンドによる県内視聴の増加にも期待。
- ・民放を統合するプラットフォームへの参画と並行し、番組を核にローカルなコミュニティを形成するファンサイトを拡大していく。

○国際発信について

<現状>

- ・国際発信は、地域情報の海外発信の面からも、番組販売の拡大の面からも課題だが、取り組めていない。

<課題など>

- ・国外放送のための権利処理など、ノウハウが不足している。
- ・民放としては、マネタイズの仕組みを整える必要がある。